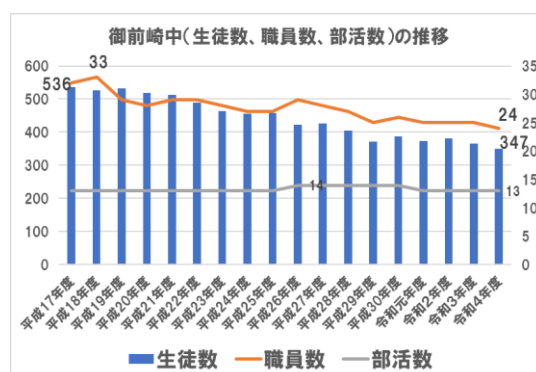


部活動の在り方について

つい先日、2022年の出生数が80万人を割ったという報道がありました。80万人を割ったのは、比較可能な1899年以降で初めてであり、国の推計より11年早いそうです。少子化がますます進んでいます。

本校でも、右記の表のように17年前は生徒536人が在籍していましたが、令和4年は347人と189人も生徒数が減少している状況です。それと比例して職員数も大幅に減少していますが、部活動数は13のままであり、大きな変動はありません。



生徒数の減少に伴い、部活動運営に大きな影響が出ています。令和4年度の部活動加入状況として、全校生徒の約11%に当たる40名が外部で活動しており、多様化が進んでいます。また、本校の13部活中、2つの部活動が必要最低人数に満たず、対外試合等大会に参加することができません。さらに、3つの部活動で活動人数がギリギリの状態であり運営面で苦勞しています。職員数も減り、各部活動に主顧問と副顧問の2名を配置することができず、多くの種目で顧問を兼ねている状態です。

そして、生徒数の減少とは直接関係ありませんが、職員の時間外勤務時間も深刻な問題になっています。R4における本校の年間平均時間外勤務時間は月60.2時間（R4、4月～R5、2月まで）となっており、勤務時間ガイドラインに定められている月45時間をはるかに超えています。また、月によっては過労死ラインと言われている80時間を超えている月もあるのが現状です。

以上のことを鑑み、よりよい部活動運営を目指して、昨年からPTA執行委員の皆様、御前崎中学校スクラムスクール運営委員の皆様にも御意見を伺いながら話し合いを続けてきました。その結果、本校として以下の方針のもと、令和5年度より部活動の在り方、運営について改革を進めていきたいと考えました。

御前崎中学校 部活動改革方針

- 1 部活動、地域活動や外部活動を含め、子どもたちがスポーツ活動や文化活動を継続的に続けていけるようにする。
- 2 時代のニーズや多様化により、子どもたちの放課後の取り組みも大きく変わりつつある。子どもの多様なニーズに応えられるよう、放課後の時間を確保する。
- 3 教員の時間外勤務時間削減を目指し、学校教育の質を向上させる。

そして、具体的な改革として以下のことを行います。

- 1 令和5年度から部活動を、全員加入制から任意加入制とします。

*次年度のはじめに部活動への加入有無、クラブ活動（外部活動）への参加有無等を調査します。

2 年間を通じて下校時間を 16 時 30 分で統一します。

* 月・水は部活動なし(水曜日を 6 時間授業とします)

年間や週の授業時数は R4 と変わりません。

* 部活動繁忙期(4 月～9 月夏季中体連及び新人戦)

火・金は約 1 時間 45 分の活動 (火・金 5 時間)

木曜は約 65 分の活動とします

* 部活動繁忙期以外 (10 月～3 月)

火・木は約 65 分の活動(火・木 6 時間)

金は 1 時間 45 分の活動

* 活動時間数は昨年度より若干短縮されますが、冬場については活動時間を確保することができます。

部活動繁忙期の日課(例)

月	火	水	木	金
1～5時間目				
6時間目	清掃	6時間目	6時間目	清掃
部活動終了 16:30	委員会および 部活動 会議日	委員会および 会議日	部活動	部活動

令和 4 年までの平日部活動活動時間

年間活動日数 100 日 延べ 150 時間 1 週間の平均 4 時間 33 分

年間通じて部活動終了を 16 時 30 分に統一した場合の平日の部活動活動時間

年間活動日数 100 日 延べ 128 時間 1 週間の平均 4 時間 00 分

3 部活動の設置数について、加入状況によって見直すことがあります

- ① 3 年生が引退し、新チームから単一チームが組めない状況となり、翌年の新入生の入部にも関わらず、単一チームが認められない場合、翌々年の募集を停止します。
- ② 募集を停止した部活動については、在籍する部員の卒業をもって廃部とします。
- ③ 単一チームが組めない部活動は、隣接中学校との合同チームを模索します。
- ④ 一旦、廃部となった部活動について、廃部後に入部の希望があったとしても新たに設置することはありません。

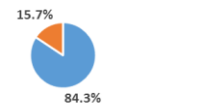
この 3 つの改革については、子どもたちにも説明し、アンケートを実施しました。任意加入について「よいと思う 84.3%」、下校時間を 16 時 30 分に統一することについて「よいと思う 80.1%」、部活動設置数を減らすことについて「良いと思う 77.8%」と概ね良いと思う生徒が多いことがわかりました。

また、下校時間の統一については「自由時間や勉強時間が増えると思う」「家庭学習をする時間が増えて、有効的に使える」などの肯定的な意見が多く見受けられました。反対に「スマホやゲームの時間が増えそう」「部活の活動時間が短くなってしまう」などの意見もありました。

全国的に部活動の地域移行が叫ばれておりますが、今回の改革は部活動の地域移行とは切り離し、あくまでも御前崎中学校部活動改革方針に基づいて、持続可能な部活動とすること、子どもの多様なニーズに対応すること、時間外勤務時間を削減して教育の質を向上させることを目指していきたいと思います。

任意加入についてどう

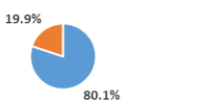
思いますか 全校



■ よいと思う ■ よくないと思う

下校時間を 16:30 に統一する

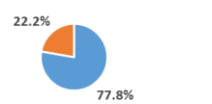
ことをどう思いますか 全校



■ よいと思う ■ よくないと思う

部活動数を減らすことを

どう思いますか 全校



■ よいと思う ■ よくないと思う

令和 5 年度から初めての試みであり、課題もあるかもしれませんが、ただ、責任感・連帯感を涵養し、自主性の育成、人間関係の構築にも寄与する部活動を持続可能な活動としながら、あわせて教育の質を向上させ、一人一人の子どもの豊かな成長に向けて全力で教育を推進してまいります。

何卒、御理解と御支援をいただきますようお願いいたします。

御前崎中学校長 古地 隆